

プレスリリース | 2017年9月～10月開催の写真展

ギャラリーの紹介

gallery 176は、2005年～2009年まで大阪・豊中市で運営されていた写真専門ギャラリーです。2016年9月17日（9月17日は、日本で最初にダゲレオタイプ（銀板写真）の撮影が成功した日です）に、元オーナーと7人の写真家の計8人（現在7人）で共同運営するギャラリーとして再開しました。

これまで、企画展として、西岡潔展「Migration」、石田榮展「はたらくことは 生きること—昭和30年前後の高知」、本山周平展「日本 2001-2016」、金川晋吾展「father 2009.04.10-」、熊谷直子展「シャッターラブ」、山縣勉展「涅槃の谷」、森山大道 写真展「Odasaku」を開催しています。

ギャラリーの詳細

ギャラリー名称：gallery 176（ギャラリー イナロク）

住所：〒561-0851 大阪府豊中市服部元町1-6-1

電話番号：050-7119-9176

交通アクセス：阪急宝塚線 服部天神駅（梅田から11分）下車 徒歩1分

e-mail : info@176.photos

web site : <http://176.photos/>

写真展会期：通常は金曜始まりの翌々週の火曜まで（9月の布垣昌邦写真展の会期は通常とは異なります）

開廊時間：平日 13:00～19:00、土曜 11:00～19:00、日曜祝日 11:00～17:00

写真展開催中の休廊日：水曜、木曜（9月の布垣昌邦写真展の休廊日は通常と異なり、火曜、水曜、木曜となります）／写真展が開催されていない場合は休廊）

ギャラリー運営メンバー：

北田祥喜、木村準、杉あつよ（コーディネーター、プレス担当）、友長勇介（オーナー）、西川善康、布垣昌邦、松原豊（五十音順、計7名）

2017年9月以降の写真展・イベント

9月9日(土)～24日(日) メンバー写真展 布垣昌邦写真展「青の時代」

*前回7月送付のプレスリリースに詳細を掲載済み

10月8日(日)～22日(日) 企画展 金村修、タカザワケンジ展「写真史（仮）」

***今回8月送付のプレスリリースに詳細を掲載**

10月27日(金)～11月7日(火) メンバー写真展 高津吉則写真展「REPLICAS」

*次回9月送付のプレスリリースに詳細を掲載予定

金村修、タカザワケンジ展「写真史（仮）」

会場：gallery 176（ギャラリー イナロク）

大阪府豊中市服部元町1-6-1／阪急宝塚線 服部天神駅(梅田から11分)下車 徒歩1分

会期：2017年10月8日(日)～10月22日(日) *通常とは会期初日・最終日が異なります

休廊日：10月11日(水)、12日(木)、18日(水)、19日(木)

開廊時間：平日 13:00～19:00、土曜 11:00～19:00、日曜・祝日 11:00～17:00

*10月14日(土)はイベント開催のためイベント参加者以外の方の入廊時間が11:00～13:00となります

作品説明：

「写真史というのは、時代と状況によって絶えず解釈し直される『写真史（仮）』という形でしか、存在できないのではないだろうか。」（金村修）。

今年2月に刊行された、金村修、タカザワケンジ著『挑発する写真史』（平凡社）の「まえがき」一節である。『写真史（仮）』は同書のタイトル案の1つでもあった。

金村が述べているように、歴史はつねに現在の視点で書き直される（仮）のものでしかない。今回の展示ではその（仮）でしかない写真史をテーマにする。

展示概要：

展示会場では、金村修による映像作品「Animals (For Garry Winogrand)」と写真作品1点（大阪巡回展のみ）と、タカザワケンジによる『挑発する写真史』に関連する写真展示「偶然の写真史」を行います。

また会期中、二人によるレクチャー「その後の仁義なき挑発する写真史 大阪死闘篇」を開催します。

*当展示は、2017年5月16日(火)～6月3日(土) alternative space「The White」（東京神保町）で行われた展示を再構成されたものです。



(C)金村修「Animals (For Garry Winogrand)」(映像作品)より



(C)タカザワケンジ(写真はイメージです)

関連イベント／レクチャー&ポートフォリオ・レビュー

開催日：2017年10月14日(土)

第一幕：レクチャー「その後の仁義なき挑発する写真史 大阪死闘篇」

開催時間：13:30～15:00

出席者：金村修×タカザワケンジ

*日本写真に登場する関西の写真家たちのなかから3～4人を取り上げ、日本写真における関西写真の重要性について。

第二幕：ポートフォリオ・レビュー

開催時間：15:15～18:00

金村修先生、タカザワケンジ先生、両先生ともにレビューをして頂きます。

一人15分、10人限定

参加費：

第一幕（レクチャー）+第二幕（レビュー参加）8,000円（定員 10名）

第一幕（レクチャー）+第二幕（レビュー見学）3,500円

第一幕（レクチャー）のみ 3,000円

申込み方法：webサイトの申し込みフォームからお申し込みください。

プロフィール

金村 修

1964 年東京都生まれ。写真家。1989 年、東京総合写真専門学校に入学。タブロイド紙配達のア
ルバイトをしながら、都市の写真を撮り始める。在学中の 1992 年、オランダの写真展「ロッテ
ルダム・フォト・ビエンナーレ」に作品が選出される。1993 年、東京総合写真専門学校卒業。同
年、最初の個展を開催。1995 年処女作「Crash landing」刊行。1996 年、ニューヨーク近代美術
館「new photography12」に、「世界に注目される 6 人の写真家」の中のひとりとして選ばれる。
1997 年、東川町国際写真フェスティバル新人作家賞受賞。2000 年、史上 2 番目の若さで土門拳
賞受賞。2014 年伊奈信男賞受賞。

タカザワ ケンジ

1968 年群馬県生まれ。写真評論家。早稲田大学第一文学部卒業。「アサヒカメラ」「PHaT PHOTO」
などの雑誌に寄稿。評論の他、写真家への取材、写真集の編集・構成、写真をテーマにした実験
的な展示など、写真全般についてフィールドワークを続けている。『Study of PHOTO 名作が生
まれるとき』（ビー・エヌ・エヌ新社）日本語版監修。渡辺兼人写真集『既視の街』（東京総合
写真専門学校 + AG GALLERY）の編集と解説ほか。写真展に「CARDBOARD CITY」（The White、
2014）など。東京造形大学非常勤講師。

お問い合わせ

この展示に関するご質問、メディア掲載用画像の提供等のお問い合わせは、下記までお願い致
します。

*画像は、以下のリンク先から直接ダウンロードしていただくことも可能です。

https://www.dropbox.com/sh/uupzzcrzm4eqh38/AABQskjw4pU5_Cf6sDB4cqPga?dl=0

gallery 176（ギャラリー イナロク）

担当：杉 あつよ

〒561-0851 大阪府豊中市服部元町1-6-1

tel：050-7119-9176

e-mail：info@176.photos

web site：http://176.photos/